

## 第27回 美和ふるさと夏まつり「提灯作り」

< 美和地区自治振興会 >

丹波市 市島町  
代表：西安 五月

目的	<p>〔地域の現状〕 自治会・PTA・商工会・婦人会等の団体が中心となり、小学校区80%以上が参加していたが、少子高齢化により団体員減少、不景気により企業力がなく、以前のような盛大にぎやかな夏祭りが沈滞</p> <p>〔地域の課題〕 高齢者の生きがいの場所づくり・子どもたちの居場所づくり等、高齢者と子どもたちとの交流</p> <p>〔解決方法〕 ※子どもたちとの交流をふまえ、大人・子どもみんなが楽しめる夏祭りを展開 ※本件申請のような、簡単にできる「提灯作り」にて盛り上げる</p>	
内容	<p>日時 平成21年8月2日（日）雨天のため順延 PM6:00～PM9:30</p> <p>場所 美和ふるさと村百貨店前（旧農協）広場</p> <p>協働相手 三輪幼小PTA・商工会美和地区</p> <p>対象 美和地区全域</p>	
地域	丹波市市島町三輪小学校区	
事業の効果	<p>〔地域の活性化〕 地域世代間の交流場（祖父母・親子・子ども・孫） 地域の安全・防犯（顔みしり）の相乗り効果</p> <p>〔地域団体の基盤強化〕 近隣自治会等のイベントなどの協働を図ることができた（提灯の取り付け指導） 活動拠点の拡充を図ることができた 実行委員会を中心に各団体の組織体制の拡充を図ることができた</p> <p>〔地域づくり活動ノウハウの蓄積〕 提灯作り（子ども中心）により世代間の交流を図ることができた 従来以上の協働参加が見込めた</p>	
事業経過	<p>5月30日</p> <p>6月19日</p> <p>7月7日</p> <p>7月19日、26日</p> <p>7月26日～29日</p> <p>7月31日</p> <p>8月1日</p> <p>8月2日</p> <p>8月3日</p> <p>8月10日</p>	<p>第1回 美和地区自治振興会新理事会開催 ※平成21年度事業計画について</p> <p>第27回 美和ふるさと夏まつり責任者打ち合わせ会 ※企画・立案会議</p> <p>第27回 美和ふるさと夏まつり実行委員会開催 ※事前内容確認、提灯作り開始決定、チラシ作り開始決定 協働団体・施設にPR</p> <p>事業周知のため、校区住民を対象に新聞折り込み</p> <p>アフタースクールを利用して100個の提灯を製作</p> <p>会場準備</p> <p>雨天のため、夏まつりを順延</p> <p>第27回 美和ふるさと夏まつり 開催</p> <p>後かたづけ</p> <p>反省会実施</p>



園児による演奏で祭りが開かれました



オープニングセレモニー



子どもたちもたくさん参加されました



提灯を見ようとたくさん参加されました

協働先	三輪幼小PTA・商工会美和地区・スポーツ21美和等7団体への働きかけ (内容) 実行委員会参加呼びかけ(手紙・TELにて) 作品展出品の依頼(訪問・有線放送にて) 演技の依頼(訪問・TELにて) 夜店出品の依頼(訪問にて)	
今後の展望	[実績評価] 子ども提灯づくりは、初めての事業で検討段階から困窮を極めたが、保育園・ふれあい教室、小学生児童・PTA等の協働を得て、約1週間で100個の提灯が完成した 雨天順延にもかかわらず、メインである「提灯」を見学に世代間を超えた人々が集まり盛大に行われた(約700人参加) [ノウハウ] 「子ども提灯づくり」の参考資料を集めるため、インターネット・各種パンフレット活用、及び商工会や観光協会等の訪問により、色々なノウハウを得られた [反省点] (準備) 「提灯」の取り付け場所を、やぐら中心に低くした方が良かった。 照明器具の配置検討 (本番) 実行委員の分担割当が一部実行されていない 演技キャンセルがあった場合、対策が不十分であった 費用の配分検討(花火打ち上げ本数)	
経費総額(うち助成金)		249,657円(うち助成金119,000円)
事業経費	主な活動項目(上位3項目)	活動等項目
		支出額(見込額)
		提灯材料等
音響設備等使用料	70,500円	
企画・宣伝費等	9,572円	